

中野神明小学校・新山小学校統合委員会 要 点 記 録

第13回

| | | |
|------|--|---|
| 開催日時 | 平成28年10月20日(木)午後6時30分～8時15分 | |
| 開催場所 | 南中野区民活動センター洋室1・2号 | |
| 出席者 | 委員 | 河原井守、大川輝男、渡部金雄、小川恵子、大山理奈、大川奈々、大矢進一、裨地加代子、永見俊光、道林京子、赤津知子、三小田真乃美、岡本賢二、廣瀬淑識、吉羽茂、小菅和子、板垣淑子、浅野昭 (敬称略、順不同) |
| | その他 | パシフィックコンサルタンツ株式会社 子ども教育施設担当 |
| | 事務局 | 学校再編担当 |
| 会議次第 | 【報告】 1 みなみの小学校の校章デザイン等の報告について 2 想定される児童数・学級数について 【議事】 1 統合新校の校舎（中野神明小学校）の改築について 2 その他 | |

第13回 中野神明小学校・新山小学校統合委員会 会議要旨

開 会

委員長

定刻となったため、これより第13回の統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。

前回の統合委員会に引き続き、統合新校の校舎の改築に関係して、教育委員会の施設担当職員と基本構想・基本計画の策定についてサポートしていただくコンサルタント会社の担当者が出席している。議事1「統合新校の校舎（中野神明小学校）の改築について」の説明と質問に回答していただく予定なので、よろしく願います。

それでは、議事に入る前に、事務局から2点の報告事項がある。

報告(1)みなみの小学校の校章デザイン等の報告について

事務局

前回の統合委員会に取りまとめたみなみの小学校の校章デザインについて10月6日に委員長から教育委員会へ報告した。その際に、校旗と学校指定品等についても合わせて報告を行った。報告書の文案については、事前に両校と正副委員長とで調整を行い作成したものである。

■報告書「みなみの小学校の校章デザイン、校旗及び学校指定品等について」事務局から説明

みなみの小学校の校章デザイン、校旗及び学校指定品等について、以下のとおり意見を取りまとめましたので、学校統合委員会の設置に関する要綱第3条第1項の規定に基づき、報告します。

1 校章デザイン

校章デザインは、中野神明小学校・新山小学校の児童・保護者、地域の方などからデザイン案を募集し、それをもとに専門家にデザイン化を依頼して検討した結果、下図のとおりとする。

《校章の説明》



この校章は、統合する中野神明小学校と新山小学校の子どもたちや関係者などから広く図案を募集し、応募作品の中から中野神明小学校・新山小学校統合委員会での協議を経て定められたものです。

統合する2校の歴史を踏まえ、両校の校章の特徴を取り入れるとともに、「みなみの」の言葉からイメージする明るい太陽を表した円と、小学校の「小」の字の中心に校名を配しました。

新山小学校の笹りんどうの葉を支えに、左右から中野神明小学校の鳩の羽根で包みこむことにより、両校の卒業生からも温かく見守ってもらいたいという想いと、両校の伝統を引き継ぎ大きく飛躍して欲しいとの想いを込めました。

2 校旗

校旗の地の色は、協議の結果、青色とする。そのほかの部分については、中野神明小学校・新山小学校と教育委員会とで協議して決めてもらうこととする。

3 学校指定品等

学校指定品等の品目・デザインなどは、統合委員会での意見を参考に、中野神明小学校・新山小学校で協議して決めてもらうこととする。

報告(2) 想定される児童数・学級数について

■資料「学級数の推計と普通教室数」について事務局から説明

(概要)

平成29年度、みなみの小学校の統合時の学級数は18学級の推計だが、平成34年度の1年生は150人規模になると推計しており、全体で21学級になると推計している。

平成35年度以降は全学年が4学級となる可能性があることから、普通教室は24教室用意する。

委員長

説明の内容について、何か意見等あるか。

委員

児童数が増加しているが、実際にみなみの小学校の通学区域内で生まれた子どもの数が増えているということか。

事務局

平成28年度の0才児が、平成34年度に1年生になるとして推計した数字である。

委員

南台小学校の通学区域内の児童数も増えているのか。

事務局

中野区全体で見れば出生数は増えているが、地域によって増減の違いはある。南中野地域については、少しずつだが増えている。ただ、それがいつまで続くのかは、平成34年度以降の出生数で推計するので、今は示すことはできない。ただ、「新しい中野をつくる10か年計画(第3次)」などでも人口推計はしているが、子どもを生む女性の数そのものが減ってきているので、その後は微減傾向にあると考えられている。

委員

新しい学校としては、各学年4学級で合計24学級を基本とするということか。

事務局

そうである。その学級数を基本に、設計についても考えることになっている。

委員

私立へ進学する子どもも多いのではないか。

事務局

中野区全体の就学率はあがっており、地域によって差はあるが、区立の小学校に入学する子どもの増加や、今までは就学前に転出する子どもが多かったのだが、それが減ったことにより定住化が少しずつ進んでいる。この推計値を出すにあたっては、平均値ではなく南中野地域のこれまでの推計値を反映させた。

委員長

若い世代の定住ということは中野区全体の向上になると思う。若い人が来て、またすぐ出て行ってしまおうという傾向が中野区は多かったが、子育てまでという定住があると、また落ちついた環境になるのではないかと思う。

他に何か意見はあるか。特になければ議事に進む。

1 議事

議事(1) 統合新校の校舎(中野神明小学校)の改築について

委員長

それでは、議事「統合新校の校舎(中野神明小学校)の改築について」事務局の説明を求める。

■資料「施設計画について」パシフィックコンサルタンツ株式会社から説明 (概要)

1 前回統合委員会で頂いたご意見

- ・校庭は、トラックが入るかの検討を行って欲しい。
- ・現状のトラックはコーナーが急なことにより転ぶ児童がいる。なるべく緩やかなトラックを検討して欲しい。
- ・現状の校庭は、統合3校の中でも一番狭く、校庭で遊ぶことが出来る学級を分けて使用している。
- ・統合によりさらに児童が増えるため、校庭を現状より広く取ることを第一に検討して欲しい。
- ・施設イメージ2について敷地北西側に配置された校舎は敷地東側に集約すると校庭が広く取ることが出来る
- ・高層化や地下を利用する案も検討して欲しい。
- ・別棟の校舎やコの字型の校舎は死角が増えて管理がしづらい。
- ・屋上のプールの場合、周りのマンションからの目線に配慮してほしい。
- ・現在の正門(東)の位置を東側にずらすことはできないか。

2 計画条件

- ・用途地域については敷地西側の一部が近隣商業地域である。その他の敷地は第一種中高層住居専用地域である。
- ・敷地の条件として、高さ制限は、道路・隣地斜線、第1種高度地区、日影規制があり、敷地北側は、4層分(14.0M)を建てるには北側隣地境界より約15Mの離隔を確保する必要がある。3層分(10.5M)では約9.5Mの離隔が必要となる。
- ・道路は隣地である東南以外の全ての方面からアプローチできるが、西側は幅員が広く、大通りとの接続が近い道となっている。

3 現在の校庭について

中野神明小学校

校庭合計面積 3,284 m²(うち、校庭面積2750 m²、芝生面積534 m²)

トラックの長さ 122m(5 コース) 直線距離 50m

新山小学校

校庭合計面積 3,626 m²

トラックの長さ 107m(5 コース) 直線距離 50m

4 施設計画

施設配置イメージ1

- 従来校舎配置案
- 4階建て、北側の一部3階建て案
- 校舎はLの字型プランとし、全面中廊下型とする。
- 普通教室は2～4階に設け、南、東向きの教室としている。
- 特別教室は、2～4階に設け、北、東、西側に面した配置としている。
- 管理諸室は、管理のしやすさを考慮し職員関連の室は、1階の中央に配置し、校庭に面した配置としている。その他の室は2～4階に配置している。
- 特別支援学級は、採光と災害時の避難を考慮し、1階南側の昇降口に近接させて配置する。
- 給食室は敷地南側に配置し、搬入経路を児童の動線と離している。
- 体育館はキッズ・プラザ（2階）と一体型のものを計画している。
- プールは南側校舎屋上に計画している。
- 開放図書館は、一般利用者がアプローチしやすい西側の幅員の広い道路に隣接させる。
- 校庭規模を拡大している（約3839 m²）
- 校庭は最長(対角線)の部分で 89.8mとする。

施設配置イメージ2

- 敷地東側校舎集中配置案
- 4階建て、北側の一部3階建て案
- 校舎はコの字型プランとし、校舎北側を片廊下型、東側と南側を中廊下型とする。
- 普通教室は2～4階に設け、南、東向きの教室としている。
- 特別教室は、2～4階に設け、北、東、西側に面した配置としている。
- 管理諸室は、1階の敷地南側に配置し、校庭に面した配置としている。その他の室は2～4階に配置している。
- 特別支援学級は、採光と災害時の避難を考慮し1階北側の校庭に近接させて配置する。
- 給食室は敷地東側に配置し、搬入経路を児童の動線と離している。
- 体育館はキッズ・プラザ（2階）と一体型のものを計画している。
- プールは南側校舎屋上に計画している。
- 開放図書館は、一般利用者のアプローチのしやすさを考慮し、西側の幅員の広い道路に近接した位置としている。
- 校庭規模を拡大している（約3956 m²）
- 校庭は最長(対角線)の部分で 94.5mとする。

委員長

施設計画について説明があったが、意見のある方はお願いしたい。

委員

新しく建て替えられる小学校内に設置されるキッズ・プラザで、乳幼児事業も行うということだが、学校が運営されている同じ時間帯においての動線はどうなるのか。また、場所も体育館の2階ということなので、乳幼児を連れた保護者が上がるのは、結構大変だと思う。それについてもどのような対応になるのか。

区担当者

動線は別になるようにする。また、エレベーターの設置も必要と考えている。

委員

他にもバギーや自転車の置き場所なども別に必要になると思う。

委員

イメージ1と2は、両方とも児童の出入り口が1か所になっているが、600人近い児童数になると思うが1か所で大丈夫なのか。今現在でさえ、両校とも複数の出入り口を登下校のときは開けている。

委員長

使い勝手の問題になると思うが、学校としての考えは如何か。

委員

出入り口が1か所でも昇降口が何か所になるかということで違ってくる。

委員

イメージ1は体育館と校舎棟が離れているが、渡り廊下などを設置するのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

上履きでも行けるように渡り廊下は設置する。

委員

イメージ2は、中野通り側に校庭があるので、道路側から丸見えになってしまうのではないか。

委員

イメージ2のほうが、校庭が広くとれるようなので良いと思う。

委員

イメージ2の校舎の「コ」の字の部分は中庭のようなものか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

校舎の全体に光が入るように、このような開放スペースを設けた。1階部分は庭として使える。

委員

例えば、この部分は、芝生にすることは可能なのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

機能上は特に問題はない。遊具等も置くというような使い方も可能である。

委員

そうすると、イメージ2のほうが校庭は広くなって使い勝手が良いということか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

有効面積は広くとれているとは思う。

委員

今回、実施したアンケートで、中野神明小学校関係の回答者は、芝生運動場を残してほしいとの意見が多かったので、何らかの形で残ると良いと思った。

区担当者

ただ、芝生というのは非常にナイーブなので、登下校時に一斉に踏みたたかれる場合や、冬芝を植えた場合の養生期間など加味し検討することが必要になる。

委員長

中野区内の他の学校では、芝生はどのような状況なのか。

区担当者

区内の8校の小学校に入っているが、芝の状況は学校によってかなり違いがある。校庭全面の場合で、地域開放など使用している学校は、なかなか芝が定着しない。グラウンドの周辺を芝生にしている学校もある。啓明小学校は全面的に芝生を植えているが、児童も一緒に芝刈り機で手入れをするなど、学校全体で取り組まないとなかなか管理が難しい。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

芝生にすると水代など年間の管理費用も、普通の学校よりもコストがかかるということになる。

委員

先日、区内の芝のある小学校を見に行く機会があったが、校庭が平らではなかった。そこにトラックを作るとなると、走りにくいのではないかと思ったので、校庭全面が芝というのはどうかと思う。

委員

人工芝はどうか。

区担当者

人工芝というのは固いというイメージがあるが、昔に比べればかなりいいものが出ているので、新宿区では、人工芝を入れている学校が増えてきていると聞いている。

委員

今の校庭というのは、子どもたちが座るとおしりが真っ白になってしまうし、風が吹けば砂が舞うので、それはそれでネックだと思う。

委員

校舎は、4階建てをイメージすればいいか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

高さ制限でどうしても建てられない部分があるので、北側の一部は3階にしているが、全体的には4階建てとなっている。

委員

イメージ2の管理諸室としている南側の校舎は4階になるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

4階である。

委員

給食室の上にも校舎が載るのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

全面にはないが、ほぼ載せる感じである。

委員

プールを南側校舎屋上に計画しているということは、この4階の上にプールが設置されるということか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

そうである。

委員

何度もお願いしていることだが、プールの目隠しについては是非お願いしたい。

委員

統合委員会では、イメージ1か2のどちらかを選択するということまで決めるのか。

事務局

どちらが良いということを決めるのではなく、それぞれについて意見を出していただき、それを踏まえて、設計会社とともに案を考えていくことになる。

委員

北側の鍵形になっている道路はかなり道幅が狭いが、建て直すことによって幅が広がったりはするか。

委員

もともと、地主から提供された土地だったと思うので、道路を広くする場合は学校の敷地を削るような形になるのではないか。

子ども教育施設担当

調べてみないとわからないが、学校の敷地に入ってくる可能性はある。

委員

今現在、地元の人子どももあまり通らない道である。

委員

子どもたちの出入り口がイメージ2の北側になると、ここを通ることになるのではないか。

委員

この北側の出入り口だけではなく、搬入としている今の正門からも入らないと、南台のほうか

らも来る子どもは、北側まで学校を回り込んで入らないといけない。

委員

この辺りの動線がどうなるのかがわからない。

委員

搬入としている出入り口も含めれば、東西に2カ所出入り口ができるのではないか。

区担当者

ただ、時間帯によっては給食の車が入るので、子どもたちの出入り口としてはどうかと思う。

委員

給食の車の搬入と子どもたちの登校の時間は重なるのか。

委員

若干、給食の朝の搬入が早い、ほぼ同じ時間帯である。

委員

1カ所しか出入り口がないというのは、どうだろうか。

委員

子どもの出入り口は、1カ所だけでは防災上もよくないし、また、地域にしても出入り口が1カ所だけでは不便である。

区担当者

子どもたちの出入り口を一つしか設けないというわけではない。校舎配置の検討と合わせ、子どもたちの登下校時の動線等を鑑みて柔軟に考えていくことになる。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

この図面で示しているのは、子どもたちが入るメインの正門であるが、その他、緊急時に使用できるサブの門もつくる考えである。今後、子どもたちの人数や集中する時間などにより、どこを登下校時に使用していくのが良いのか検討していくことになる。

委員

イメージ1とイメージ2では、体育館棟を除いた部分の建物自体の延べ床面積の差はあるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

基本的には教室諸室等の面積は標準仕様があるので変わらないが、その他廊下のとり方によって変わってくる。

委員

運動会時の子どもたちへの日除けや緊急車両の出入口などいろいろなことを想定して考えていく必要があるが、図面上だけではなく近隣との関係も勘案する必要があると思う。

委員長

現在の中野神明小学校の出入り口は何か所にあるのか。

委員

正門と西門をメインで使用しており、登校時間より早く来る児童は北門から入っている。

委員

イメージ1・2ともキッズ・プラザは体育館の中に設け、地域開放型学校図書館も校舎の端に新たにつくるということで、外部の人に対してのセキュリティはできるような基本的設計だと思う

日当たりに関しては、イメージ1では西側の4階建て校舎の影がトラックにかかり、イメージ2ではトラックに対して日を遮る建物がないため逆に日陰がないように感じる。

委員長

基本的な図面案は他にもあるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

敷地の形が非常に変わっていることに加え、高さ制限が非常に厳しいという中で、ある程度の広さの校庭をとるという目的で何パターンはつくってはいるが、検討に値する実用性のある案としては、やはりこの2つだというのが我々の見解である

委員長

他にも案が考えられるのなら新たに図案を示してもらった必要があるが、校舎配置がイメージ1と2の位置に集約されるものならば、今までの意見を基本として考えていただけたらと思う。
パシフィックコンサルタンツ株式会社

意見をできるだけ集約して盛り込んでいきたいというのが趣旨なので、イメージ1と2のそれぞれの良さや改良点などの意見を出してもらえれば、今後の検討がある程度幅を持って出来るかと思う。

委員

今の芝生運動場に体育館というのは、北側斜線もあまり掛からないので良い案だと思う。併設するキッズ・プラザはどの位置になるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

体育館の梁材等、丈夫なもので構成して、上の部分すべてがキッズ・プラザとして使えるようになる。

委員

体育館は2階建てと思えばいいのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

そうである。天井の高さは8メートルを想定しているが、これは小学校の中でも一般的に採用されている高さである。

委員

面積でいうと、現在の体育館とどのぐらいの差があるか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

中野神明小学校の体育館は554㎡、案の面積は864㎡程度としているので、約1.6倍になる。

委員

イメージ2の体育館に接している地域開放型学校図書館の位置を東側にずらすと、キッズ・プラザと同じ出入り口になるので、地域の開放の出入り口が1カ所になり、管理しやすくなるのではないかと思う。イメージ1だと全く位置が違うので、地域の開放の出入口は2つ必要だと思うが、イメージ2は位置の変更によって可能だと思う。

委員

地域開放型学校図書館に悪い人が入ってきてしまったとき、普通教室と隣接していると怖いと思うが、開放用の図書館だけ全く別な場所にするというのは可能なのか。

事務局

地域開放型学校図書館は、学校に設置する図書館と隣接することを想定している。学校が使用しているときは外から入れないようにし、学校が使用していないときに地域に開放することになる。開放している場所には、人を配置するなど普通教室のほうには行けないようにするなどセキュリティについても配慮することになる。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

出された意見をもとに、地域開放型学校図書館を含めた全て施設について児童の動線やセキュリティを勘案し、どのような配置が良いのか、いろいろな視点で組み直すことはできると思う。

委員

配置図面の最終期限というのはいつぐらいになるのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

計画上は年内に形にできるようにということで進めている。いただいた意見を踏まえて、新しい学校としての考え方という部分も含めた基本構想・基本計画を来年、春ごろまでに策定するスケジュールである。

委員長

具体的な配置も分かるような図面は、統合委員会には出てこないのか。

事務局

統合委員会からは施設配置についての意見をいただき、基本構想・基本計画に反映できるように考えている。細かい教室の配置については、来年度に策定する基本設計のなかで決まっていくものなので、現段階では具体的な配置案は出せないが、いただいた意見をもとに教育委員会が責任を持ってつくっていく。

委員

統合委員会としての意見の出し方としては、どのようにするのか。

事務局

統合委員会で協議していただいた意見をもとに、改築に対しての意見書をまとめたいと考えている。まずは今まで出された意見をまとめた資料を作成したので内容を確認いただき、それをたたき台として、最終的な意見書のとりまとめを協議していただきたい。

■資料「統合新校校舎の改築に関する主な意見」事務局から説明

- ・建築基準法などの規制が厳しいとは思いますが、統合後の児童数を考慮した校庭の広さやトラックの確保など、最大限の努力をしていただきたいと考えます。
- ・キッズ・プラザや地域開放型学校図書館の設置にあたっては、学校関係者以外の動線に十分配慮した配置とするとともに、セキュリティ対策を講ずることで学校運営に支障がないようにしていただきたいと考えます。
- ・プールを屋上に造るにあたっては、周りのマンションからの目線に対する配慮が必要だと考えます。
- ・子どもたちが長く過ごす校舎については、自然光を取り入れるなど明るい校舎造りを検討していただきたいと考えます。
- ・教室の配置など具体的な検討をするにあたっては、学校と十分に協議し進めていただきたいと考えます。
- ・アンケートで出された意見については、施設計画にできるだけ反映していただきたいと考えます。

委員長

今説明のあった内容について、何か意見のある方はお願いしたい。

委員

屋上緑化は考えていないのか。

区担当者

屋上の利用に関しては、室外機や太陽光パネルを設置することにより、屋上部分の使用スペースが埋まってしまうので、その他で活用できる場所が十分に捻出できるか、現段階ではわからない。子どもたちが利用するに当たっては、先生方の監視体制の整備ということも必要なので、学校とも調整をしながら、利用できる場合は利用するという可能性を残しつつ、これから考えていくことになる。

委員

今は、屋上でも遊ばせているのか。

委員

普段は使用していないが、時に観察に出たりしている。

委員

校庭が広ければ、あまり屋上を使わなくても済むが、昔の児童が多いときは屋上を使っていた。

委員

室外機や太陽光パネルを体育館の上に全部集約することはできないのか。

パシフィックコンサルタンツ株式会社

体育館は、柱と柱の間隔長くなるので、設備のような重い加重を載せるということは難しい。基本的には校舎の上に室外機等付帯関係を置くということで想定している。建物の面積に余裕が

あれば、建物内に設置ということもあるが、今回はできるだけ小さくして校庭を広くとるということになるので、今回はその方向が妥当かと思う。

委員長

他に意見はないか。なければ、今まで出た意見を再度、設計事務所で詰めてもらうという形をお願いしたい。

また、今まで出された意見をもとに、統合新校の改築に対する意見書を作成したいと思う。先程、事務局から説明のあった意見書の案について修正等あるか。なければ最終的な文案について、正副委員長と学校とで調整するの souhait が如何か。

—異議なし—

委員長

それでは、意見書の文案を調整した後、正副委員長から教育委員会に報告をする。

区担当者

今日、提出していただいたアンケートの結果については、設計事務所の集約ができれば郵送等で報告する。また、「基本構想・基本計画」については、年内に配置も含めた案を作成し、年明けには議会報告、その後区民に向けて説明会を開催し年度末に策定される予定である。統合委員会には、案が出来た時点で報告する予定である。

議事(2) その他

委員長

それでは、議事「その他」に進む。まず、学校指定品について学校から説明がある。

■学校指定品の検討状況について学校長から説明

(概要)

- ・体育着 シャツは白地にブルーライン入り、パンツはブルー（見本をもとに説明）
- ・通学帽 色はブルー、パイピングと校章は黄色

委員

通学帽子は1年生だけ被るのか。

学校

1年生は交通安全協会支給の黄色い帽子で、2年生以上が通学帽子を被ることになる。

委員長

次に新山小学校から「地域での教育委員会」について説明がある。

学校

来週10月28日金曜日に新山小学校にて教育委員会が開催される。協議テーマは「子どもの読書活動と地域開放型学校図書館について」、その他に学校から読書活動について報告をする予定である。平日の昼間だが、よろしければお出でいただきたい。

委員長

以上で本日の議事はこれで終了するが、他に何か意見はあるか。特になければ次回の学校統合委員会の開催について日程調整をする。

事務局

統合委員会での協議事項は、本日の協議をもって全て完了した。次回開催が最後の統合委員会となるが、日程については来年1月下旬から2月上旬を予定している。

委員長

では、次回の統合委員会については、後日改めて日程調整をする。本日の統合委員会は、以上をもって終了する。